

シ ラ バ ス

(6 年次用)

平成29年度 6年次授業日程表

週	日程	月	火	水	木	金		
	3月27日～3月31日	春 休						
1	4月3日～4月7日	個別計画実習 第Ⅰ期 平成29年4月3日（月）～ 5月19日（金）						1-1
2	4月10日～4月14日							1-2
3	4月17日～4月21日							1-3
4	4月24日～4月28日							1-4
5	5月1日～5月5日	実習報告週		祝日	祝日	祝日	1-5	
6	5月8日～5月12日	全人医学／ユニオンレクチャー ※期間中に健康診断及びマッチング説明会を予定						1-6
7	5月15日～5月19日							1-7
8	5月22日～5月26日							
9	5月29日～6月2日	個別計画実習 第Ⅱ期 平成29年6月5日（月）～ 7月14日（金）						
10	6月5日～6月9日							2-1
11	6月12日～6月16日							2-2
12	6月19日～6月23日							2-3
13	6月26日～6月30日	実習報告週(チューターへの実習状況報告等)						2-4
14	7月3日～7月7日							2-5
15	7月10日～7月14日							2-6
16	7月17日～7月21日	祝日						2-7
17	7月24日～7月28日	夏 休						
18	7月31日～8月4日	夏 休						
19	8月7日～8月11日	夏 休						
20	8月14日～8月18日	夏 休						
21	8月21日～8月25日	夏 休						
22	8月28日～9月1日	夏 休						
23	9月4日～9月8日	個別計画実習 第Ⅲ期 平成29年9月4日（月）～10月13日（金）						3-1
24	9月11日～9月15日							3-2
25	9月18日～9月22日	祝日						3-3
26	9月25日～9月29日	発表準備期間／実習報告週						3-4
27	10月2日～10月6日							3-5
28	10月9日～10月13日							3-6
29	10月16日～10月20日	発表準備期間／実習報告週			発表会(2日間)			3-7
30	10月23日～10月27日	※11月4日（土）に卒業時OSCE実施						
31	10月30日～11月3日						祝日	
32	11月6日～11月10日							
33	11月13日～11月17日				予定：卒試（国試形式） ※期間中2日間			
34	11月20日～11月24日				祝日			
35	11月27日～12月1日				予定：卒試（再試） ※期間中1日間			
36	12月4日～12月8日							
37	12月11日～12月15日							
38	12月18日～12月22日							
39	12月25日～12月29日							
40	1月1日～1月5日	祝日						
41	1月8日～1月12日	祝日						
42	1月15日～1月19日							
43	1月22日～1月26日							
44	1月29日～2月2日							
45	2月5日～2月9日							
46	2月12日～2月16日	祝日						
47	2月19日～2月23日							
48	2月26日～3月2日							
49	3月5日～3月9日							
50	3月12日～3月16日							
51	3月19日～3月23日				祝日			
52	3月26日～3月30日							

科目名：全人医学

場所：大講義室

区 分	内 容	
学習指導教員 (コーディネーター)	役 職 氏 名	地域社会医学・健康科学講座（疫学分野） 教授 西尾 久英
	連絡方法	TEL：078-382-5540 E-mail：nishio@med.kobe-u.ac.jp
	備 考	
担当教員	役 職 氏 名	外科系講座（災害・救急医学分野）/附属病院救命救急科 助教 岡田 直己
	役 職 氏 名	外科系講座（麻酔科学分野） 准教授 高雄 由美子
	役 職 氏 名	内科系講座（医療情報学分野）/附属病院医療情報部 准教授 高岡 裕
	役 職 氏 名	生化学・分子生物学講座（生化学分野） 教授 中村 俊一
	役 職 氏 名	医学部附属病院 副病院長・看護部長 松浦 正子
担当教員 (学部外)	役 職 氏 名	神戸大学理事・副学長、神戸大学大学院法学研究科 教授 井上 典之
	役 職 氏 名	神戸大学名誉教授 丸山 英二
担当教員 (学外)	役 職 氏 名	国家公務員共済組合連合会六甲病院 緩和ケア内科 部長 安保 博文
	役 職 氏 名	西本クリニック 院長 西本 隆
	役 職 氏 名	兵庫県スモンの会 会長 春本 幸子
	役 職 氏 名	兵庫県健康福祉部 医監 山本 光昭
学習到達目標	医療の今日的問題とそのアプローチ法を理解する。	
講義の概要・形式	チーム医療，薬害被害者の悲嘆，法律家の立場からみた医師活動，行政の立場からみた医療・保健，漢方医学，緩和医療といった医療の今日的問題について講義します。	
講義内容	（１）鍼灸（担当教員：高岡） 鍼灸治療とは，我が国の伝統医学である東洋医学の治療法であり，生薬を用いた漢方治療と一対をなしている。過去には，「画一的な治療行為をおこなう西洋医学の欠点」に対して「東洋医学のアドバンテージは，個人個人の体質に合わせた治療」にあると謳われた事もあったが，最近では「未病を治す」と言われる。しかしヒトゲノム解析の完了後，ゲノムに記録されている個人の体質情報を利用したテーラーメイド医療（ゲノム医療）により，西洋と東洋の医学の方向性は融合しつつある。これらを踏まえて本講義では，（１）鍼灸治療の起源と各国での医療としての取り扱いの違い，（２）鍼灸治療とは？（治療器具や理論），（３）明治維新の医療制度改革と鍼灸（漢方）および現代での扱い等を解説し，引き続きゲノム医学の切り口で鍼灸を解析した結果，すなわち（４）骨格筋に及ぼす鍼通電治療の効果，特に遺伝子発現への影響と生体への効果を紹介し，（５）鍼治療について直に触れる機会により，多面的に鍼灸について学ぶ。	

講義内容	(2) チーム医療 (担当教員: 松浦) 現在、医療の現場ではチーム医療を推進するためのさまざまな努力がなされています。しかし、ひとくちにチーム医療といっても、その捉え方は多様で、医療従事者間でもその認識にはずれがあり、そのことが、チーム医療を困難にしている要因のひとつになっている場合があります。「チーム医療」といことは、立場や役割の異なる職員が勝手に言っているだけでみんなが同じように捉えていないのではないだろうか。そもそもチーム医療の定義というのはきちんとあるのだろうか?」と思われたことはありませんか。そこで、今回、「チーム医療」について改めて整理し、考察してみたいと思います。 (3) 医療・医学における倫理と法 (担当教員: 丸山) (a) 生命倫理の基本原則について触れたあと、臨床研究を行う際に遵守すべき倫理規範・倫理指針について、最近の動きも含めて解説する。(b) 医療事故による法的責任の主要なものとして、①民事責任 (損害賠償責任など)、②刑事責任、③行政上の制裁について、成立の要件と効果および最近の傾向を解説する。併せて、インフォームド・コンセントの要件や個人情報保護法制の概要にも触れる。 (4) 終末期医療と緩和ケア (担当教員: 安保) 進行癌を患った人は、身体・心理・家族・社会・環境・宗教・生と死への考え方など、各方面でそれ以前にはなかった問題を生じ、生活が損なわれていく。緩和ケア病棟では、患者と家族の生活状況を全体的にとらえたうえで、実現可能な患者・家族の希望を引き出し、その希望の実現のために障害となっている問題を一つ一つ解決していくか希望や問題を別の形に置き換えるとともに、患者や家族の人間関係を再構築することによって、癌によって損なわれた生活全体を改善することを目指している。今回の講義では、緩和ケアを行う上で必要な考え方を概説した上で、症状緩和の方法・難しい場面でのコミュニケーションのとり方など緩和医療の具体的な技術についてお話ししたい。 (5) わが国の保健医療の動向と医師に期待される役割 (担当教員: 山本) わが国の保健医療を取りまく環境の変化として、①疾病構造の変化、②少子高齢社会、③価値観の多様化、④経済の進展・低成長、⑤国際化の進展、⑥情報化の進展、⑦科学技術の進歩、⑧健康危機管理事例の多発について解説したうえで、医師と法律・行政との関わり、最近の保健医療政策の動向について解説する。また、厚生労働省医系技官の役割とその仕事の魅力について紹介したい。 (6) 東洋医学総論 (担当教員: 西本) 漢方医学は、紀元前4世紀頃に中国において編纂された「黄帝内経」という書物にその原型をみるが、その後、中国国内においては中国伝統医学として発展し、それを輸入した日本においては、15世紀頃から「漢方医学」として独自の体系化がなされてきた。その特色は生薬による治療と針灸治療であるが、昨今、西洋医学の発達の方で、西洋医学では十分な対応ができない症状や疾患に対して、漢方治療が大きな効果を挙げることが認知されてきている。講義では、漢方医学の歴史・基礎を解説するとともに、臨床医学としての漢方が、西洋医学に対してどの分野でアドバンテージを持ちえるか、あるいは西洋医学をどのように補完しうるか、について紹介していきたい。 (7) 消化器内科領域の漢方治療 (担当教員: 岡田) 機能性ディスペプシア、胃食道逆流症、過敏性腸症候群、便秘症といった機能性疾患や、ゲップ・腹部膨満感といった腹部症状は、それらを抱える患者は多く、QOLを損なうものであるにもかかわらず、それらの病態に関する研究はまだ十分でなくその診断法や治療薬は西洋医学の範囲では限られている。漢方治療はそれらの疾患や症状に対して一定の有効性を示しており、QOLを重視する全人的医療において漢方治療を学ぶことは重要である。本講義においては、消化器内科領域の漢方治療に関するEBMを解説するとともに、漢方治療が有効であった症例の提示や、現在取り組んでいる漢方問診票を用いた臨床研究を取り上げる予定である。
-------------	---

講義内容	(8) ペインクリニック領域の漢方治療 (担当教員: 高雄) 麻酔科の業務には周術期の麻酔管理, 術後の全身管理とペインクリニックがある。この内ペインクリニックでは様々な痛みの治療を経験するが, 痛みのメカニズムはまだまだ解明されていない点が多い。特に難治性慢性疼痛では「これをすれば治る!」といった治療法が確立されておらず, 神経ブロック, 薬物, 理学療法を組み合わせた挑戦の日々である。最近われわれはこの難治性疼痛の治療に漢方薬を取り入れてきた。近年, 東西医学の融合の重要性が認識されているが, 日本の漢方医学は6世紀前半に中国からもたらされ日本の国情に合わせて工夫改良され日本独自の発展を遂げ今日に至る。今回の講義では痛みの治療における漢方薬の役割や効果についてのわれわれの取り組みを自験例を中心に紹介する。 (9) 憲法から性同一障害まで (担当教員: 井上) 最近、憲法改正が議論されています。その議論において、野党議員から総理大臣に対して「日本国憲法13条に何が規定されてるか」との質問があり、総理大臣は「個別の条文をいちいち存じ上げない」と回答しました。実は憲法13条は立憲主義の基本原則に関する規定になります。そして、その具体的内容を理解してもらえるように、医学とも関連する性同一性障害の法的問題を取り上げて講義したいと思います。 (10) 医療革新と基礎研究 (担当教員: 中村) 医学が飛躍的に進歩した今日に於いても有効な治療法が存在せず、病に苦しむ多くの患者が存在する。進行がんや神経変性疾患に苦しむ患者にとって福音となる根本的治療法の開発が望まれるところである。本講義では革新的な医療を生み出す可能性のある基礎研究を紹介し、医療の未来を考える。 (11) 薬害 (担当教員: 春本) 医薬品には効果と同時に、必ず副作用があります。副作用がそれだけに止まらず、看過できない被害を人体にもたらした場合が薬害です。日本の代表的な薬害であるスモン（キノホルム薬害）を例に、日本の薬害の歴史、被害実態、日本で多発した原因などについて概説し、日常の診療の中での薬害防止について考えたいと思います。
授業における使用言語	日本語
今年度の工夫 (準備学習・復習、関連科目情報等を含む)	系統講義では取り上げられなかったテーマから、今日の日本の臨床医活動にとって特に重要なものを取り上げた。準備学習・復習、関連科目情報等については、授業中に別途指示する。
教科書・参考書等	
成績評価方法と基準	出欠を重視する。

大講義室（5/25のみA講義室） 授業科目名（全人医学）

週	月 日（曜）	時 間	講 義 題 目 ・ 実 習 題 目	担当
1	5月22日（月）	10:10～11:10	鍼灸	高岡
		11:20～12:20	チーム医療	松浦
		13:20～14:20	医療・医学研究における倫理と法（1）	丸山
		14:30～15:30	医療・医学研究における倫理と法（2）	丸山
1	5月23日（火）	10:10～11:10	終末期医療と緩和ケア（1）	安保
		11:20～12:20	終末期医療と緩和ケア（2）	安保
		13:20～14:20	わが国の保健医療の動向と医師に期待される役割（1）	山本
		14:30～15:30	わが国の保健医療の動向と医師に期待される役割（2）	山本
1	5月24日（水）	10:10～11:10	東洋医学総論（1）	西本
		11:20～12:20	東洋医学総論（2）	西本
		13:20～14:20	消化器内科領域の漢方治療	岡田
		14:30～15:30	ペインクリニック領域の漢方治療	高雄
1	5月25日（木） ※A講義室	10:10～11:10	憲法から性同一障害まで（1）	井上
		11:20～12:20	憲法から性同一障害まで（2）	井上
		13:20～14:20	医療革新と基礎研究	中村
		14:30～15:30	薬害	春本

区 分	内 容	
学習指導教員 (コーディネーター)	役 職 氏 名	医学教育学分野・総合臨床教育センター 特命教授 河野 誠司
	連絡方法	E-mail:sjkawano@med.kobe-u.ac.jp
	備 考	
学習到達目標	疾病構造の変化から、多くの診療科が関わるケースが医療現場では増えてきている。複数の診療科が関わる症例を選択し、各々の診療科の専門医が病態の診断ならびに治療法に関して活発に討論し、最善の方法を選択していくまでの過程を学生も参加して学ぶことを目標とする。ぜひ、チーム医療と全人的医療の大切さを学んでいただきたい。	
講義の概要・形式	横断的な症例が選択されており、幅広くさらに高度な知識が要求される。学生にも討論に参加してもらおうので、テーマに対して積極的に予習をお願いする。	
講義内容/ 学生へのメッセージ	【総合内科学】 肝硬変を基礎疾患にもつ82歳女性。人工膝関節置換術後感染のため当院転院。感染コントロール困難で、全身状態が悪化していくなかで、どうマネジメントし意思決定していくべきか、考えていく。 ～メッセージ～ 皆さんは1年後には現場で働いているはず。リアルな現場での問題を一緒に考えて見ましょう。 【循環器内科学】 アミロイドーシスとはアミロイド蛋白が全身臓器に蓄積し、さまざまな機能障害を呈する一連の疾患群である。今回は、慢性心不全及び心室頻拍の精査の過程で、アミロイドーシスの存在が明らかとなった一例を提示し、全身疾患と心臓病との関連を考察したい。 ～メッセージ～ 患者はしばしば特定の臓器症状のみを訴え来院するが、その原因に想いを馳せることが重要である。一緒に学びましょう！ 【腎臓内科学】 腎移植を成功させるためには術前の全身管理が重要で、そのためには末期腎不全患者でどのような合併症がおこるか把握する必要がある。今回、腎移植後、副甲状腺機能亢進症に対し手術が必要となった症例を通じて、腎不全に伴う合併症に対する理解を深めていただくと共に、腎移植および副甲状腺機能亢進症に対する手術についても学んでもらう。 ～メッセージ～ 腎移植症例を通じて、腎不全に伴う合併症について学んでください。 【呼吸器内科学】 非小細胞肺癌に治療はこの数年で飛躍的に進歩している。それだけに、長期生存やADL、QOLの維持のためには、骨転移や脳転移などの合併症への適切な対応がより重要になってきている。 ～メッセージ～ 肺癌の集学的治療を学んでください。 【膠原病リウマチ内科学】 ベーチェット病は思いのほか、多い疾患であるが意外と見逃される。それは症状が様々で、鑑別診断として思いつかない場合もあるからである。本講義では、ベーチェット病の基本病態、特殊な病態などを解説し、疾患の全体像が見えるようにしたい。 ～メッセージ～ スッキリしていただければ幸いです。	

講義内容/ 学生へのメッセージ	【消化器内科学】 急性肝不全は、内科的治療のみでの救命率は低い。適切な肝補助療法を行いながら、肝移植を検討しなければならない。急性肝不全の原因検索と初期対応、血漿交換や血液ろ過透析などの肝補助療法、肝移植の実際と問題点について概説する。 ～メッセージ～ 急性肝不全の患者さんを救命するための集学的な取り組みについて学んでください。 【産科婦人科学】 子宮筋腫は、婦人科腫瘍性疾患の中で最も頻度が高く、30歳以上の女性の20-30%にみられます。さまざまな自覚症状や、不妊症・不育症の原因ともなり、その管理・治療は年齢などによって多岐にわたります。今回は低侵襲治療のひとつとしての子宮動脈塞栓術についても取り上げます。 ～メッセージ～ 良性腫瘍の管理・治療には、患者さんの治療に対する気持ちとQOLを重視することが求められます。子宮筋腫の診断・治療を通して、女性の一生に寄与する産婦人科のありかたをぜひ学んでください。 【形成外科学】 糖尿病性足潰瘍の原因は、1. 末梢神経障害、2. 末梢血管障害（末梢動脈疾患）、3. 感染症であり、これらの病因が複雑に混在した病態である（神戸分類）。 病態を把握して治療に臨み救済を図り歩行を守る集学的治療を紹介する。 ～メッセージ～ 糖尿病性足潰瘍は一般には知られているが、その病態や治療は本邦の医学教育にはない。飛躍的に増加している糖尿病性足潰瘍を紹介する。 【麻酔科学】 前置癒着胎盤を合併した妊婦に対する帝王切開術は、術中に大量出血が予想されるハイリスクな症例である。このハイリスクな症例に対して、いかに安全に周術期管理を行っていくかという内容を麻酔科、産婦人科、放射線科の視点に立ってそれぞれの治療戦略を講義していきます。 ～メッセージ～ 本症例を通じて、帝王切開術における麻酔管理、そして各科の専門的知識、円滑な協力体制の重要性について学んでください。 【口腔外科学】 歯・顎口腔領域は、全身疾患に関連し様々な症状を呈し、QOLに大きく関わる領域である。難治性骨髄炎の一種であるビスホスホネートを含めた薬剤関連性顎骨壊死(ARONJ)や放射線性顎骨骨髄炎(ORN)の代表症例の解説とともに、薬剤や治療開始前の口腔機能管理の重要性について講義する。 ～メッセージ～ 臨床では、全身疾患に関連した顎口腔症状で難渋することがある。その実際について学んでほしい。
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）	準備学習・復習、関連科目情報等については、授業中に別途指示する。
教科書・参考書等	各科のプリント
成績評価方法と基準	出席点

平成29年度6年次ユニオンレクチャー講義予定表
講義室:大講義室・A講義室(5/25(木)・5/31(水))

回	月 日 (曜) /時間/担当	講 義 項 目	関連講座
1	5月22日(月)	前置癒着胎盤合併妊婦に対する帝王切開術の麻酔	産婦人科学 放射線医学
	15:40~17:10		
	麻酔科学		
	巻野 将平		
2	5月23日(火)	脊髄転移による神経症状が出現した配腺癌の1例	整形外科 (由留部先生) 放射線腫瘍科 (石原先生)
	15:40~17:10		
	呼吸器内科学		
	中田 恭介		
3	5月24日(水)	全身疾患に関連する顎口腔疾患(顎骨骨髓炎)	耳鼻咽喉・頭頸部外科学 膠原病リウマチ内科学 整形外科
	15:40~17:10		
	口腔外科学		
	長谷川 巧実		
4	5月25日(木)	全身疾患と心臓病 ～アミロイドーシスを考える～ (※A講義室)	神経内科学 病理診断学
	15:40~17:10		
	循環器内科学		
	松本 賢亮		
5	5月26日(金)	急性肝不全 ー診断から治療までー	肝胆膵外科学 麻酔科学
	15:40~17:10		
	消化器内科学		
	川野 佑輝		
6	5月29日(月)	糖尿病性足潰瘍(神戸分類)	糖尿病・内分泌内科学 総合内科学 循環器内科学
	15:40~17:10		
	形成外科学		
	寺師 浩人		
7	5月31日(水)	ベーチェット病 (※A講義室)	消化器内科学 神経内科学 眼科学
	15:40~17:10		
	膠原病リウマチ内科学		
	森信 暁雄		
8	6月 1日(木)	リアルワールドでの意思決定(仮題) (※講義時間に注意)	消化器内科学 緩和支援治療科学
	14:00~15:30		
	総合内科学		
	森 寛行		
9	6月 1日(木)	腎移植症例から学ぶ腎不全に伴う合併症	腎泌尿器科学 耳鼻咽喉科頭頸部外科学
	15:40~17:10		
	腎臓内科学		
	後藤 俊介		
	6月 2日(金)	※健康診断(実習時に必要ですので必ず受診してください。) 9:00~11:00/12:20~15:00	
10	6月 2日(金)	子宮筋腫の診断・治療から学ぶQOLを重視した女性診療	放射線科
	15:40~17:10		
	産科婦人科学		
	蝦名 康彦		

科目名：個別計画実習

区 分	内 容	
学習指導教員 (チューター)	役 氏 職 名	臨床関係各教育研究分野教授・准教授(別表のとおり)
	備 考	※学生個々のチューターは5年次に決定する。 ※チューターは、個々の学生が計画する実習内容を、大局的な観点から個別に相談・承認・確認し、その実習計画に関して責任を有する。
学習指導教員 (個別計画実習担当教員)	役 氏 職 名	臨床関係各教育研究分野実習担当教員
	備 考	※各分野の実習担当教員は、学生が実習計画を策定するにあたり、各実習期において自科(分野)の実習を希望する学生に対して、その具体的な実習内容・実習先に関する情報提供や相談を行う。また実習協力病院に対して実習受入依頼を行い、時期毎の実習受入可能人数等を調整する。神大病院における実習時は、実習を担当する教員の代表として学生に対応する。
学 習 目 標	本実習は、学生の自主性を重んじ、学生が主体的に考えた実習計画に沿った形で実施するものである。臨床実習のみならず研究室や海外での実習も対象とし、個々の学生に対して臨床関係の教授または准教授がチューターとなり、その実習計画の内容を吟味し指導を行う。 臨床実習では、5年次に行ったBSL(Bed Side Learning: 大学病院の全臓器別診療科を回り幅広い臨床経験を積む実習)とは異なり、医療チームの一員として診療に積極的に参画するクリニカル・クラークシップにより深い知識や診察スキルを習得し、卒後研修につながる臨床実習を目標とする。 海外の実習では、外国での臨床実習または研究を通じて、異文化交流を深め、国際的な視野の獲得に勤めることを目標とする。 研究実習では、基礎研究に加えて臨床研究も対象とし、最先端の医学に触れ、サイエンスへの探究心を育むことを目標とする。	
実 習 の 形 式	実習期間を大きく次の3つの期間(実習期)に分ける。 第Ⅰ期：平成29年4月 3日(月)～ 5月19日(金) 第Ⅱ期：平成29年6月 5日(月)～ 7月21日(金) 第Ⅲ期：平成29年9月 4日(月)～10月20日(金) 原則として実習期ごとに異なる実習目的(実習分野)を掲げることとし、各期において設定した実習目的に基づき、個々のチューターと相談しながら実習計画を策定・実施する。各期において実習報告日を設け、実習状況を報告・確認するとともに、全実習終了時には実習内容に関する発表会を行う。	
臨床実習について	実習協力病院に対して実習を依頼し、実習協定書を取り交わす。 あわせて「臨床実習の手引き」を作成・送付する。	
成績評価方法	各チューターが、担当する学生の全期を通した評価を行う。 チューターは、各実習先における指導責任者の評価や、各期実習報告時の面談等における評価、自己評価及び発表会における評価等に基づき可否を判定する。 発表会における優秀者は、卒業証書授与時に表彰する。	

【別表】 チューター一覧(H29)

教員名	教育研究分野名	職名
平田 健一	循環器内科学	教授
山下 智也	循環器内科学	准教授
西村 善博	呼吸器内科学	特命教授
梅垣 英次	消化器内科学/地域医療ネットワーク学	特命教授
小川 渉	総合内科/糖尿病・内分泌内科学	教授
高橋 裕	糖尿病・内分泌内科学	准教授
西 慎一	腎臓内科学	教授
戸田 達史	神経内科学	教授
古和 久朋	神経内科学	准教授
南 博信	腫瘍・血液内科学	教授
向原 徹	腫瘍・血液内科学	特命准教授
松岡 広	腫瘍・血液内科学	准教授
佐々木 良平	放射線医学	特命教授
杉本 幸司	血管内治療センター(放射線)	特命教授
飯島 一誠	小児科学	教授
森岡 一朗	小児科学	特命教授
池田 真理子	小児科学	特命准教授
曾良 一郎	精神医学	教授
菱本 明豊	精神医学	准教授
掛地 吉弘	食道胃腸外科学	教授
角 泰雄	食道胃腸外科学(低侵襲外科学分野)	特命准教授
木戸 正浩	肝胆膵外科学(低侵襲外科学分野)	特命教授
眞庭 謙昌	呼吸器外科学	教授
田中 雄悟	呼吸器外科学(低侵襲外科学分野)	特命准教授
尾藤 祐子	小児外科	特命准教授
黒田 良佑	整形外科	教授
酒井 良忠	整形外科／リハビリテーション機能回復学	特命教授
中村 誠	眼科学	教授
丹生 健一	耳鼻咽喉科頭頸部外科学	教授
大月 直樹	耳鼻咽喉科頭頸部外科学	准教授
日向 信之	腎泌尿器科学(泌尿器先端医療開発学)	特命准教授
出口 雅士	産婦人科学	特命教授
蝦名 康彦	産科婦人科学	准教授
寺師 浩人	形成外科学	教授
橋川 和信	形成外科学	准教授
溝渕 知司	麻酔科学	教授
木澤 義之	先端緩和医療学	特命教授
伊藤 智雄	病理診断学／病理部・病理診断科	教授
河野 誠司	医学教育学分野/総合臨床教育センター	特命教授
味木 徹夫	安全管理部	特命教授
岡山 雅信	地域医療教育学	特命教授